

【令和6年度に報告があった希少種】

「埼玉県レッドデータブック掲載種（一部抜粋）」

【鳥類（繁殖鳥）】

- ◇絶滅危惧ⅠA類（CR）…コアジサシ（カモメ科）
- ◇絶滅危惧ⅠB類（EN）…ササゴイ（サギ科）
- ◇絶滅危惧Ⅱ類（VU）…オオタカ（タカ科）



【鳥類（越冬鳥）】

- ◇絶滅危惧ⅠA類（CR）…オオハクチョウ（カモ科）
- ◇絶滅危惧ⅠB類（EN）…トラフズク（フウロウ科）
- ◇絶滅危惧Ⅱ類（VU）…カンムリカイツブリ
(カイツブリ科)



【爬虫類】

- ◇絶滅危惧Ⅱ類（VU）…シマヘビ（ナミヘビ科）
- ◇準絶滅危惧1型（NT1）…ヒバカリ（ナミヘビ科）
- ◇準絶滅危惧2型（NT2）…アオダイショウ
(ナミヘビ科)



【両生類】

- ◇準絶滅危惧1型（NT1）…アズマヒキガエル
(ヒキガエル科)



【昆虫類】

◇絶滅危惧Ⅱ類 (VU) …キイロサナエ
(サナエトンボ科)

◇準絶滅危惧Ⅰ型 (NT1) …アオカミキリ
(カミキリムシ科)



【クモ目】

◇準絶滅危惧Ⅰ型 (NT1) …コガネグモ (コガネグモ科)



【植物】

◇準絶滅危惧 (NT) …ウラシマソウ (サトイモ科)



埼玉県レッドデータブックのカテゴリーと判断基準

区分	基本概念および定性的要件
絶滅 (EX)	埼玉県ではすでに絶滅したと考えられる種。
野生絶滅 (EW)	埼玉県在来個体群で、飼育下でのみ存続している種。
絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN) ○絶滅危惧ⅠA類 (CR) ○絶滅危惧ⅠB類 (EN)	埼玉県において絶滅の危機に瀕している種。 CR:ごく近い将来における野生での絶滅の可能性が極めて高い種。 EN:ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高い種。
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	埼玉県において絶滅の危険が増大している種。
準絶滅危惧 (NT) ○準絶滅危惧1型 (NT1) ○準絶滅危惧2型 (NT2)	埼玉県において存続基盤が脆弱な種。 NT1:種本来の特性として脆弱な要素をもつ種。 NT2:生息状況の推移から判断して種の存続への圧迫が強まっていると判断される種。
情報不足 (DD)	埼玉県では評価に必要な情報が不足している種。
絶滅の恐れがある 地域個体群 (LP)	埼玉県において地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。
地帯別危惧 (RT)	全県的には絶滅の可能性は低いものの、地帯区分でみた場合にすでに絶滅した地帯がある、もしくは絶滅のおそれを危惧すべき地帯があると判断される種。